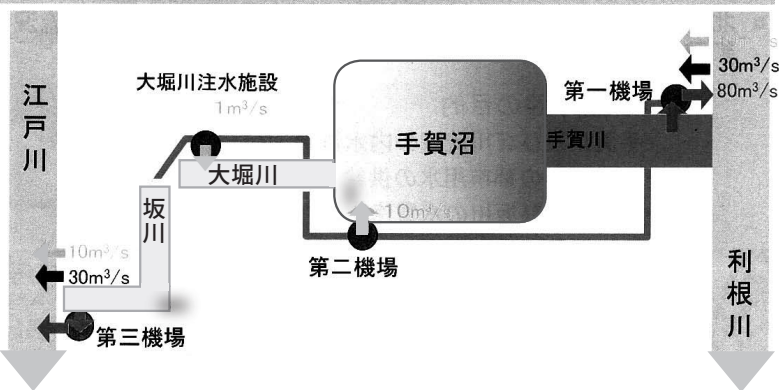


手賀沼と北千葉導水

北千葉導水路の運用方法



沼が川になってしまっとう？

手賀沼の水は一年に2〜3回入れ替わり

年に一度、手賀沼の水の館で開かれる手賀沼水環境保全協議会の総会。今年7月13日に行われました。手賀沼はかつて、27年間も日本で一番汚濁されている沼として有名でした。平成12年、北千葉導水路の運用が開始され、利根川の水を引き込んで沼の浄化をはかることとなり10年、確かに、COD・全リン・全窒素の値は下がりました。

しかし、いまだに環境基準を達成できていません。流山市を流れる大堀川は手賀沼へと注ぎ込んでいます。沼の汚れの原因は様々であり複雑です。国土交通省の北千葉導水路運用状況説明の中で、「導水によって1年に手賀沼の30杯分くらいの水を入れていく。月にすると2〜3回、沼の水は入れかわっている」とありました。確かに

に沼はワースト1を脱したけれど、当然ですが利根川の水以上にきれいになることはできません。さらに心配されることは、生態系に大きな影響を与えているのではないかとということ。国交省の方に質問したところ、「導水前と比べて生態系がどのような状態になっているかについては近々ホームページで発表する」との答えでした。

導水事業が始まった10年前には、沼の水が大量に利根川に押し出され、県水道局が取水している木下取水場でも臭気対策が大変であり、本会議で質問をし、県の対策を求めました。利根川の水を大量に注ぎ込んで沼を浄化するという、ある意味強引な方法での手賀沼浄化です。沼の水質も大事ですが、手賀沼を前にして沼の生き物がどうなるかを考えざるを得ません。

生態系の保全も視野に入れた、総合的な水環境の保全の取り組みが必要です。

またしても不正経理問題

臭いものにフタ サツサと幕引き

不正経理調査特別委員会の再設置に自民党だけが反対

県の不正経理問題は県民の県政に対する不信感をつのらせ、県民からの多くの怒りの声が寄せられてきました。議会に設置した不正経理調査特別委員会が3月末で閉会した直後の4月、安房農村振興センター及び安房地域整備

センターが繰越手続きを怠った問題、広域農道工事で未完了であるにもかかわらず完成とした虚偽報告の問題が発覚しました。また、公社等外郭団体の不正経理問題の調査結果が公表され、調査自体の不十分さが指摘（総務常任委員会にて）されました。

これらの問題は、複数の部署にまたがる組織的問題です。これらに係る問題を集中的に審議し、原因の究明と実効性ある再発防止策を立てるためにも、再度議会として不正経理調査特別委員会の設置を求める発議案を提出しました（提出党派は、民主・公明・市民ネット・社民・無所属、共産）が、またまた過半数を占める自民党の数の力によって否決されてしまいました。

臭いものにフタ、サツサと幕引き、これが相も変わらず千葉県議会の自民党の姿です。これでは、再発防止どころではありません。

守ろう 鬼泪山！ 国有林は国民の宝

富津市にある国有林・鬼泪山からの山砂採取をめぐる、これまで、4回の土石採取対策審議会が開催されました。これまで出された意見をとりまとめ、報告作業に入りました。商工労働企業常任委員会でも質問（山砂採取に関しては商工労働部保安課の仕事）。

質問 国有林からの山砂採取についての県の基本的な考え方についてお答え下さい。

答弁 「本県の発展に関連の深い公共性の高いプロジェクトに使用する場合のみ認める」というのが県の基本的な考え方。

質問 現在、対象となる公共事業はありますか。

答弁 現在のところ審議の対象となるような公共性の高いプロジェクトは把握していない。

※ 審議会の報告書の出来る時期については、示されませんでした。4回の

審議会をすべて傍聴しましたが、審議会委員には15名中5名が県議会議員で、うち4名が熱心な山砂採取推進派で、審議するというより「山砂をとらせろ」と言わんばかりの発言でした。審議会の委員選任のあり方が問われるものです。

国有林という国民の財産を守り、安易な山砂採取による自然破壊から国有林鬼泪山を県民の方と力を合わせて守っていきます。



国有林・鬼泪山の山腹

9月議会は代表質問をします

8月27日から9月定例県議会が開会となります。9月議会では代表質問に取り組み予定になっています。質問時間は1時間、答弁も約1時間、合計2時間。私の代表質問の予定は9月6日の午後1時からです。千葉テレビの中継もあります。また、ぜひ傍聴したいという方は、事務所にお電話下さい。

電話 04-7159-3781

月金 午前10時〜午後4時

任期最後の質問となりますので、あれもこれもと頭の中一杯です。本会議での質問は事前の勉強会、時には現地確認等を行いながら、まとめ

上げます。が、元になるのは日常色々とお話をする皆様の県政への声です。たとえば、東葛飾地域への重症心身がい害児施設建設、県立高校へのエレベーターの設置（車椅子、心臓疾患生徒もともに学べるよう）、厳しい障がい者の就労、利根運河にもっと水を、高齢者の厳しい介護問題等々。

一生懸命頑張ります。応援して下さい。

